

ロボット製作同好会が雑誌『NETCHU』に掲載されました

宮崎第一高等学校

2018年2月28日(水)発売された、みやざき部活動応援フォトマガジン NETCHU(ネッチュ→!!)に本校ロボット製作同好会が紹介されています。同好会として発足し、まだ日が浅いですが、日々一生懸命に活動しています。

世界大会出場を目指す、ロボット製作同好会のこれからの活躍をお楽しみにっ!

ロボット製作同好会の設立の経緯

顧問：村上 志郎

ある日、生徒3人が私に相談に来ました。聞くとところによると、ロボット製作に興味があり、その内の2人は小学校時代から、レゴ社のマインドストームを使ったロボットによるWRO(World Robot Olympiad)という大会に出場していたとのこと。また、その内の1人は小学校時代に全国大会で好成績を収め、アブダビで開かれた世界大会にも出場した経験を持つ生徒でした。高校でもWROに参加し、世界大会を目指して活動していきたいと熱く語る彼らの熱意に押され、顧問を引き受け設立するに至りました。

同好会

知ってた!?こんな

Part 2



ロボットづくりへの情熱を胸に

ロボットの動き

01 第一高等学校 『ロボット制作同好会』



1. パソコンでプログラミング
2. ブロックの場所まで前進、ゲームでスタート!
3. 授業の場所にブロックを等としてゴール!




設立から3年、着実に力をつけてきました

ブロックでおなじみの会社「レゴ」の機械部品「レゴ・マインドストーム」を使ってロボットを自作。県内外の大会に出場しているロボット制作同好会。中学時代からプログラミング経験のあった現3年生が、入学後自ら設立したそうです。ロボットが走るのは、カラーテープが引かれたコースの上。車体下部につけられたカラーセンサーでテープの色を認識し、その上を自動的に進みます。その上を自動的にはやりプログラミング

「ロボットづくりは失敗と苦労の連続。でも、成功したときのよるこびを一度味わうとやめられない」と語る3年生メンバーの熱い想いは、残る先輩たちにもしっかりと受け継がれています。

「ロボットづくりは失敗と苦労の連続。でも、成功したときのよるこびを一度味わうとやめられない」と語る3年生メンバーの熱い想いは、残る先輩たちにもしっかりと受け継がれています。

設立から3年、着実に力をつけてきました

「ロボットづくりは失敗と苦労の連続。でも、成功したときのよるこびを一度味わうとやめられない」と語る3年生メンバーの熱い想いは、残る先輩たちにもしっかりと受け継がれています。

第一高等学校 『ロボット制作同好会』

生徒数 10名
 主な活動 マシンの制作、プログラミング
 同好会のメリット 最後まで諦めない!





『部活』でガンバル宮崎の高校生を応援する雑誌。第3号は7月上旬発行予定